



全日電工連

全日本電気工事業工業組合連合会

〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F

TEL 03(5232)5861 FAX 03(5232)6855

E-mail zennichi@znd.or.jp

- 通常総会 1~6面
 ●定期講習のお知らせ 7面
 ●全国青年部協議会 12面

<http://www.znd.or.jp/>

米沢寛会長が再任



発送電分離に反対する決

あいさつで米沢会長は、「組合の連携の強さや組織の団結力の強さを感じている。組合員の役に立つ組織となるよう取り組

永年勤続表彰、第4回オートリース促進キャンペーング表彰が行なわれ、それぞれの代表者に表彰状が贈られた。

あいさつで米沢会長は、「組合の連携の強さや組織の団結力の強さを感じている。組合員の役に立つ組織となるよう取り組

平成25年度事業計画では、事業全般にわたり抜本的に整理・見直しを行なった。それに対応する組織的な対策、財政的な対

は、事業全般にわたり抜本的に整理・見直しを行なった。それに対応する組織的な対策、財政的な対

りの総務・財政委員会、技術・認証委員会、事業推進委員会の3委員会。特命委員会は、従来の沿革政策委員会に加え、電気工事技能競技全国大会の運営・競技課題等、関連事項を審議する技能競技委員会の2委員会体制で進めていく。

認されたことを受け、全国の電工理事長による調印式も行なわれた。また、緊急動議が発議され、全日電工連として載

平成24年度事業報告および平成25年度事業計画案、災害時の工業組合連携協定の締結案、任期満了に伴う役員選任などの議案審議を行い、すべて満場一致で承認された。任期満了に伴う役員選任では、米沢寛会長(石川)が再任。組織的な改善策や重点事業の見直しなど、業界としての目指すべき姿を明確にした上で、頑張る組合員の支援施策を構築し、誇りと使命感を持った『風を起こす、強い組織』を目指していく方針だ。

災害時全国工組連携協定を締結

第86回通常総会



長野県
電工組
理事長
藤沢 一三

●主な事業
●組合員数 497事業所 (平成25年7月1日現在)
●支部数 5支部

◆主な事業
①工業組合員の新規加入促進・既存組合員の組織の連携強化
②電気使用安全月間の実施
③一般用電気工作物点検業務の推進
④電気工事士免状交付事務受託の検討・取組み
⑤定款・規約・細則等の検討
⑥青年部会の育成
⑦全日電工連推奨のオートリース事業推進
指導教育委員会
①全員参加による電気工事保安講習会の開催
②第一部経営セミナーへの参加
③中部経営セミナーへの参加
④各種資格取得に向けてのサポート
⑤提案型技術営業の推進
⑥電気工事業法申請関係の完全処理
⑦電気工事の施工証明制度の推進
⑧浴室換気乾燥暖房機電源接続部の点検業務
⑨(一社)長野県消防設備協会事業への協力
福利厚生情報委員会
①電気工事業会報の発行
②各種保険・共済の加入促進
定期調査業務委員会
①長野電気安全サービスの適正かつ効率運営に努める
②安全に関する事業に積極的に取組む
③より一層お客様に満足度を高めたより質の高いサービスを継続する

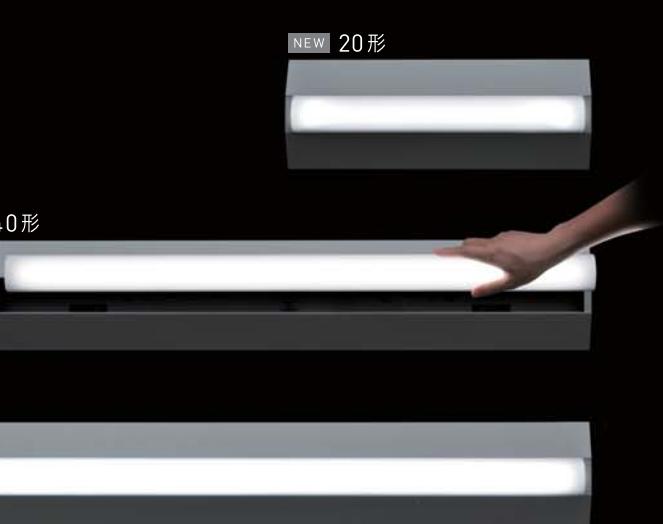


Panasonic

器具はそのまま明るさ選べる、
一体型LEDベースライトに20形・110形新登場。

器具と電源内蔵型LEDユニット「ライトバー」を組み合わせて選ぶ一体型LEDベースライトが490品番に充実。あらゆるシーンに対応します。

一体型LEDベースライト
iDシリーズ



米沢会長のもと新執行部がスタート

会長・会長代行・副会長・議長・各委員会委員長・国民年金基金幹部（敬称略）

役職	ブロック	工組	氏名
会長	北陸	石川	米沢 寛
会長代行	中国	山口	前村 隆規
副会長	東北	宮城	山野 國廣
副会長	北海道	北海道	尾池 一仁
副会長	九州	福岡	花元 英彰
総合政策会議議長	関東	東京	中川 正則
総務・財政委員長	中部	三重	楠 修次
技術・認証委員長	東北	新潟	小林 功
事業推進委員長	中部	長野	藤沢 一三
技能競技委員長	関西	兵庫	向山 和義
浴乾政策委員長	関東	群馬	関口 廉也
全国大会RP委員長	四国	徳島	後藤田 裕

任期満了に伴う役員選任では、理事26氏と監事3氏が選任された（次頁）。会長には米沢寛行（山口）、山野國廣副会長（宮城）、尾池一仁副会長（北海道）、花元英彰副会長（福岡）の4氏全員が再任した。

全日電工連 25年度役員

会長代行



前村 隆規

会長



米沢 寛

北陸電気工事組合連合会 会長
石川県電気工事工業組合 理事長
米沢電気工事株式会社 代表取締役社長

国民年金基金

理事長	北陸	石川	米沢 寛
副理事長	東北	宮城	山野 國廣

花元 英彰

尾池 一仁

山野 國廣

(敬称略)

全九州電気工事業協会 会長
福岡県電気工事業工業組合 理事長
有限会社みつる電気商会 代表取締役



北海道電気工事業工業組合 理事長
双豊電気株式会社 取締役会長



東北七県電気工事組合連合会 理事長
宮城県電気工事工業組合 理事長
仙台引込線工事株式会社 代表取締役



新型 住宅用分電盤

パールテクト

「美しい」をデザインしました。

インカーブフォルムを採用



電気を安全・安心・便利・快適に使用するための性能・機能を充実。多回路化、オール電化、分散型電源、EV・PHEV回路等に対応。



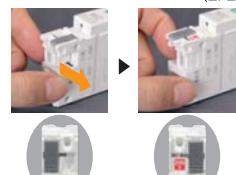
スタンダード、オール電化対応、発電システム対応、EV・PHEV回路付、
感震機能付、避雷器付、過電流警報付

業界初

① プラグイン端子方式（電源側）の分岐
ブレーカ次側で供給電圧の測定が可能！
ハンドルOFFで回路電圧を実測確認できます。
注意 テスターは先端部が14mm以上のもの
を使用してください。



② 横スライド式の電圧切替方式により文字と色で電圧表示！
100V-200V切り替えと同時に電圧表示も切り替わる構造としました。
(2P2E)



③ 全分岐回路の負荷電流
計測機能（工場オプション）
HEMS対応
小電流計測用超小型高性能CT
内蔵の分岐ブレーカを新規開発
しました。



業界初 2013年1月末時点住宅用分電盤に関する公開情報に基づく（当社調べ）

テンパール工業株式会社

本店・営業本部 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42
支店・営業所 札幌・仙台・青森・関東・新潟・つくば・東京・千葉・横浜・名古屋・静岡・北陸・大阪・京都・神戸・広島・松江・岡山・福山・山口・高松・松山・福岡・北九州・鹿児島
ホームページ <http://www.tempearl.co.jp/>

技術問い合わせ窓口
TEL(082)287-9110
FAX(082)283-4534
受付時間 9:00~17:30
月曜日~金曜日（祝・祭日、弊社休業日を除く）



小林 功



楠 修次



中川 正則

理 事



関口 廉也



向山 和義



藤沢 一三



會津 圭一郎



小野寺 涼一



後藤田 裕



杉浦 匠介



名取 隆司



嶋野 貞雄



尾上 剛二



西野 正則



鹿野 敏夫



安田 耕一



一 祥雅



寺地 善美



野田 隆司



五十嵐正美



堀口 繁



鈴木 康二



石川 精一



吉村 保利

監 事

全 日 電 工 連
平 成 25 年 度 役 員

新たに選任された理事は、各ブロックから1名ずつ選任された。また、各委員会の委員長は下記のとおりとなつた。

(学識経験者または事務局専従者からバランスよく選任された。各委員会の委員長は下記のとおりとなつた。)

(敬称略)

理 事

ブロック	工組名	氏 名	役 職
北陸	石川	米沢 寛	会 長
中國	山口	前村 隆規	会長代行
東北	宮城	山野 國廣	副会長
北海道	北海道	尾池 一仁	副会長
九州	福岡	花元 英彰	副会長
関東	東京	中川 正則	総合政策会議 議長
中部	三重	楠 修次	総務・財政委員長
東北	新潟	小林 功	技術・認証委員長
中部	長野	藤沢 一三	事業推進委員長
関西	兵庫	向山 和義	技能競技委員長
関東	群馬	関口 廉也	浴乾政策委員長
四国	徳島	後藤田 裕	全国大会RP 委員長
北海道	北海道	小野寺涼一	
東北	山形	會津圭一郎	
関東	千葉	嶋野 貞雄	
	神奈川	名取 隆司	(新 任)
中部	岐阜	杉浦 匠介	
関西	滋賀	鹿野 敏夫	
	大阪	西野 正則	
	奈良	尾上 剛二	
中国	鳥取	寺地 善美	(新 任)
九州	熊本	一 祥雅	
	宮崎	安田 耕一	
青年部	兵庫	堀口 繁	(新 任)
事務局	員 外	五十嵐正美	事務局長
事務局	員 外	野田 隆司	(新 任)

(敬称略)

監 事

四国	高知	吉村 保利	(新 任)
関東	東京	石川 精一	(新 任)
員 外	公認会計士	鈴木 康二	

(敬称略)

情報伝送システム企業へ

**DXアンテナは
710MHz対応
フルラインアップ
完了!!**

DXアンテナは、地デジ周波数再編が完了する今春に合わせて取り組んできた「UHFアンテナ全機種710MHz対応」が、今回の新製品発売により完了したことを宣言します。



710MHz対応とは

電波の有効利用を目的に、今までテレビ放送に利用されていた13~62chのうち、53~62ch(710~770MHz)がテレビ放送以外の新しいサービスへ割り当てられることになりました。

デジタルテレビ放送
470MHz 710MHz 770MHz

今後、テレビ放送以外の新しいサービスに割り当てられる予定です。

今回、DXアンテナが新発売する710MHz対応のアンテナは、この13~52chにおいての性能を重視した設計となっています。

お問い合わせはカスタマーセンターまたはホームページをご利用ください。

カスタマーセンター (受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

お昼時間も土・日・祝日もご利用ください!

携帯電話・PHS一部のP電話で上記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

DXアンテナ

なるほど!

電波の有効利用

波の波長が小さくなる

波の波長が大きくなる

波の波長が大きくなる

ブースターも710MHz対応

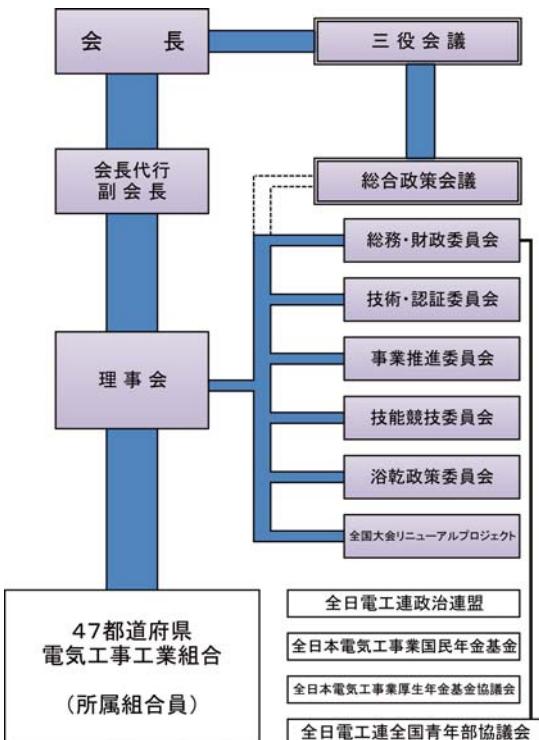
BU33L2 UF45Y1

DXアンテナは

真正ボクシングジムと

長谷川穂積拳を

応援しています。



どうぞよろしく

新ブロック会長



中部 藤沢一三会長

今年度は、全国のブロック・工業組合でも任期満了に伴なつ役員改選が行なわれ、1ブロックと6県で新会長と新理事長が選任された。

ブロックでは、中部電気工業組合連合会会長に藤沢一三氏（長野）が選任された。各県工組では、関東は、栃木県電気工事業組合理事長に市川明氏。中部は、静岡県電気工事業組合理事長に松田良克氏、愛知県電気工事業組合理事長に村上秀樹氏。

関西は、和歌山県電気工事業組合理事長に寺田浩一氏が各々就任した。九州は、長崎県電気工事業組合理事長に村上誠氏。中国は、広島県電気工事業組合理事長に村上田浩一氏が各々就任した。

ブロック・工組 任期満了による役員改選

新工組理事長



愛知県 村上秀樹理事長



静岡県 松田良克理事長



栃木県 市川明理事長



長崎県 寺田浩一理事長



広島県 村上誠理事長



和歌山県 狩谷典男理事長

総合政策会議 担当: 米沢寛会長 (敬称略)

役職名	ブロック	工組	氏名
会長	北陸	石川	米沢 寛
会長代行	中国	山口	前村 隆規
副会長	東北	宮城	山野 國廣
副会長	北海道	北海道	尾池 一仁
副会長	九州	福岡	花元 英彰
議長	関東	東京	中川 正則
総務・財政委員長	中部	三重	楠 修次
技術・認証委員長	東北	新潟	小林 功
事業推進委員長	中部	長野	藤沢 一三
技能競技委員長	関西	兵庫	向山 和義
浴乾政策委員長	関東	群馬	関口 慶也
全国大会リニューアルプロジェクト委員長	四国	徳島	後藤田 裕

事業推進委員会 担当: 尾池一仁副会長 (敬称略)

役職名	ブロック	工組	氏名
委員長	中部	三重	楠 修次
委員	関西	大阪	西野 正則
委員	北海道	北海道	小野寺涼一
委員	東北	山形	高橋 勝治
委員	北陸	福井	竹内 由男
委員	関東	埼玉	沼尻 芳治
委員	四国	愛媛	大西 英彦
委員	九州	佐賀	古賀 久志
委員	青年部	兵庫	堀口 繁

技能競技委員会 担当: 花元英彰副会長 (敬称略)

役職名	ブロック	工組	氏名
委員長	関西	兵庫	向山 和義
副委員長	中部	岐阜	杉浦 匠介
委員	東北	新潟	斎藤 賢
委員	東北	秋田	大門 孝
委員	関東	千葉	渡辺 孝
委員	関東	埼玉	佐藤 隆行
委員	中部	静岡	植田 浩行
委員	中国	広島	高野憲一郎
委員	四国	香川	新名 淳一
委員	九州	福岡	坂本 辰海
委員	青年部	大阪	林 靖貴

技術・認証委員会 担当: 花元英彰副会長 (敬称略)

役職名	ブロック	工組	氏名
委員長	東北	新潟	小林 功
委員	関東	神奈川	名取 隆司
委員	中国	鳥取	寺地 善美
委員	東北	岩手	平野 喜嗣
委員	北陸	石川	中村 唯夫
委員	関東	静岡東部	堀水東志夫
委員	関西	京都	松井 章
委員	九州	鹿児島	寺田 実三
委員	青年部	北海道	須田 敏行

全日電工連機構図 と委員一覧

浴乾政策委員会（浴乾対策小部会） 担当: 山野國廣副会長 (敬称略)

役職名	ブロック	工組	氏名
委員長	関東	群馬	関口 慶也
委員	東北	新潟	小林 功

全国大会リニューアルプロジェクト (敬称略)

役職名	ブロック	工組	氏名
委員長	四国	徳島	後藤田 裕
委員	東北	山形	會津圭一郎
委員	関西	滋賀	鹿野 敏夫
委員	中国	鳥取	寺地 善美
委員	中国	島根	矢田 信一
委員	関東	神奈川	青 博孝
委員	九州	福岡	樋口 和宏
委員	青年部	山口	守友 誠
オブザーバー	中国	山口	水野 敏信

Panasonic



天井から発生する「ナノイー」が
繊維の奥まで浸透し、生活臭の原因を抑制。
お部屋の空気を美しく保ちます。

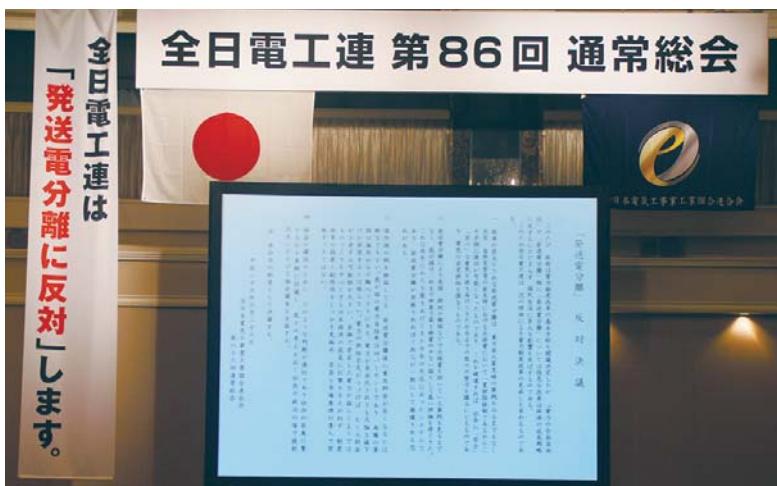
天井埋込形
ナノイー発生機
air-e

NEW
FY-16S(10畳タイプ)
FY-10S(6畳タイプ)
本体希望小売価格 38,430円(税込) 本体希望小売価格 23,100円(税込)

お問い合わせ先…パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
住環境商品営業企画部 空気設備商品グループ
〒105-8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号 TEL.03-6218-1131(代表)
製造元:パナソニック エコシステムズ株式会社



全日電工連 第86回 通常総会



「発送電分離」反対を明確に打ち出す

全日電工連は、電力システム改革、特に発送電分離が進められていることに危惧している。電気は、安全安心を前提に、安価で安定した供給が最も重要であるのに、発送電分離が実施されると電力供給の不安定リスクが増す可能性が大きくなると予想される。

また、経済的に非効率な送電設備の保安管理に対する投資が維持されるかも不安材料だ。

こうした観点から、通常総会で組織を挙げて「発送電分離に反対」を決議した。今後、組員や国議員、行政、一般の方々へ発信していく方針だ。

一 改革の目玉とされる発送電分離は、東日本大震災時の事例を見るまでもなく、天災、自然災害等の発生時ににおける大停電において一貫供給体制であるからこそ早期に復旧が可能となつたものであり、これを破壊すれば社会に「安全」「安心」な電気を送り届けてきた今日までの我々の努力を踏みにじるものであり電気の安定供給を損なうものである。

二

発送電分離により米国、歐州や韓国などで大停電を招いている事例を見るまでもなく、我が国はこれまで世界で最も停電の少ない国として高い評価を得てきた。これは永年にわたり築きあげてきた日本文化にあったシステムであり、発送電分離が実施されればこれらが一朝にして崩壊される恐れがある。

三

諸外国の例を検証しても、発送電分離後に電気料金が安くなるとは断言できない。我が国の電力自給率は四パーセントであり、高騰の要因は海外からの輸入コストにある。電力が自由化されても大幅な値下げが実現するとは限らない。電力の供給不足がつづけば、むしろ料金が上昇する可能性が大きい。安価で安定した電力が摇らぐようでは、ものづくりを中心とする日本経済の成長に打撃を与えかねず、制度改革の効果と副作用をしつかり見極め、安易な市場原理の導入で実施すべきではない。

四 国益の確保のためにどのような判断が適切であり社会の発展に繋がるかを真剣に討議し、我々の考え方を広く社会や政治の場で提起、代弁頂くため全日電工連政治連盟が選任している相談国會議員を支援する。

右 連合会の総意として決議する。

平成二十五年六月二十六日

全日本電気工事業工業組合連合会
第八十六回通常総会

「発送電分離」反対決議

このたび政府は電力制度改革の基本方針を閣議決定したが、「電力の全面自由化」や「発送電分離」特に「発送電分離」については性急な改革は経済の成長戦略に反するにとどまらず、国民生活に多大な影響を及ぼすものである。

このため全日電工連は次の理由により電力制度改革の見直しを求めるものである。

調印する米沢会長と調印式に臨んだ各工組理事長

災害時の情報提供・応急復旧に係わる
全国電気工事(業)工業組合連携協定



災害時の情報提供・応急復旧に係わる
全国電気工事(業)工業組合連携協定書 調印式

業界の社会的地位向上と経済的利益の増進をはかる

全日電工連政治連盟

強い絆で強い組織を目指す!!



47都道府県電気工事(業)工業組合は、相互扶助の立場から地震、風水害、その他災害発生時または災害の恐れがある場合の情報提供、ならびに応急復旧支援等について各電工組間の相互支援が必要となつた場合、および行政、他団体等からの支援要請があつた場合の協定を締結し、広域災害時の応急復旧を円滑に遂行するため、連携協定を締結した。

協定は、災害時等に各電工組が自治体と締結している協定に基づく情報収集等の一環とするとともに、必要に応じて全日電工連ならびにブロック連合会を通じて各電工組間で行う相互支援体制を早急に整えること、および他団体等からの支援要請に対し支援体制を整備することを目的に必要な事項を定めている。

また、情報の共有や物資の提供、その他復旧に必要な事項なども具体的に定められている。

組合員に向けては、実際の災害が発生した場合、この協定に基づき速やかな災害時復旧活動に参加いただけることを目的に、活動に対しての行動指針ならびに具体的な手順等を定めたマニュアルも発行している。

連携協定書の調印式は、総会終了後に実行され、各電工組の理事長に続き、米沢会長が全日電工連会長印を調印した。

10月

地区	都道府県	講習月日	会場番号	講習会場の名称	講習申込書提出先
北海道	札幌	10月10日 木	103305	北海道電気会館6階	北海道電気工事業工業組合 TEL011-261-0420
	岩手	10月25日 金	112302	奥州市文化会館（Zホール） 1階展示室	岩手県電気工事業工業組合 TEL019-656-3255
	山形	10月17日 木	115303	いこいの庄村内1階大ホール	山形県電気工事業工業組合 TEL023-633-0161
東北	新潟	10月3日 木	117305	燕三条地場産センター メッセピア5階	新潟県電気工事業工業組合 TEL025-229-4101
		10月21日 月	117306	新潟ユニゾンプラザ 4階大研修室	
		10月24日 木	117307		
関東	埼玉	(満席) 10月30日 日	124308	埼玉電気会館5階	埼玉県電気工事業工業組合 TEL048-663-0242
		(満席) 10月30日 金	124309		
神奈川	神奈川	(満席) 10月30日 木	127307	神奈川県電気工事会館3階	神奈川県電気工事業工業組合 TEL045-251-4671
		10月6日 日	127308	相模原市立産業会館3階 大研修室	
		10月31日 木	127309	神奈川県電気工事会館3階	
中部	岐阜	10月16日 水	132305	飛騨・世界生活文化センター	岐阜県電気工事業工業組合 TEL058-263-2207
	静岡	10月2日 水	133307	沼津商工会議所3階大ホール	静岡県電気工事業工業組合 TEL054-288-1250
	愛知	10月1日 火	134037	名古屋国際会議場 会議室431・432	愛知県電気工事業工業組合 TEL052-971-7151
		10月8日 火	134308		
		10月23日 水	134309		
北陸	福井	10月3日 木	143302	福井商工会議所 コンベンションホール	福井県電気工事業工業組合 TEL0776-22-2903
		10月20日 日	143303	アオッサ6階研修室	
近畿	京都	10月11日 金	152304	京都府電気工事技術会館3階	京都府電気工事業工業組合 TEL075-672-4311
		10月20日 日	152305		
	大阪	(満席) 10月30日 水	153308	大阪府電気工事技術会館6階	大阪府電気工事業工業組合 TEL06-6371-6147
		10月20日 日	153309		
		10月23日 水	153310		
		10月25日 金	153311		
九州	兵庫	10月11日 金	154308	但馬地場産業振興センター 多目的ホール	兵庫県電気工事業工業組合 TEL078-671-3903
	奈良	10月4日 金	155303	奈良県電気工事業協同組合 技術センター2階	奈良県電気工事業工業組合 TEL0742-33-4340
		10月20日 日	155304		
	熊本	10月18日 金	184303	熊本県青年会館2階	熊本県電気工事業工業組合 TEL096-382-2171
	大分	10月29日 火	185302	大分県教育会館1階 多目的ホール	大分県電気工事業工業組合 TEL097-568-2146
	宮崎	10月20日 日	186303	J A A Z Mホール本館 2階大研修室	宮崎県電気工事業工業組合 TEL0985-24-7388
		10月31日 木	186304	J A A Z Mホール 別館302研修室	
	鹿児島	10月17日 木	187302	鹿児島県市町村自治会館	鹿児島県電気工事業工業組合 TEL099-255-5507

11月

地区	都道府県	講習月日	会場番号	講習会場の名称	講習申込書提出先
東北	山形	11月26日 火	115304	山形ピッグウイング 4階中会議室	山形県電気工事業工業組合 TEL023-633-0161
	新潟	11月6日 水	117308	新潟ユニゾンプラザ 4階大研修室	新潟県電気工事業工業組合 TEL025-229-4101
		11月26日 火	117309		
関東	茨城	11月7日 木	121304	ホテル テラス ザ ガーデン水戸	茨城県電気工事業工業組合 TEL029-252-3133
		11月14日 木	121305		
	栃木	11月26日 火	122305	栃木県電気工業会館	栃木県電気工事業工業組合 TEL028-622-1931
中部	千葉	11月11日 月	125305	千葉県教育会館新館501	千葉県電気工事業工業組合 TEL043-224-6086
		11月19日 火	125306		
	東京	11月8日 金	126308	府中の森芸術劇場2階 平成の間 東京都電気工事業工業組合 TEL03-3542-7301	滋賀県電気工事業工業組合 TEL077-562-2069
		11月18日 月	126309		
		11月19日 火	126310		
		11月19日 火	126311		
中部	岐阜	11月8日 金	132306	ふれあい福寿会館	岐阜県電気工事業工業組合 TEL058-263-2207
	静岡	11月20日 水	133308	沼津商工会議所3階大ホール	静岡県電気工事業工業組合 TEL054-288-1250
北陸	石川	11月13日 水	142303	七尾サンライフプラザ 1階中ホール	石川県電気工事業工業組合 TEL076-269-7880
		11月20日 水	142304	いしかわ総合スポーツセンター 2階会議室	
		11月21日 木	142305	七尾サンライフプラザ 1階中ホール	
		11月26日 火	142306	いしかわ総合スポーツセンター 2階会議室	
近畿	滋賀	11月27日 水	151303	大津市勤労福祉センター5階	滋賀県電気工事業工業組合 TEL077-562-2069
	兵庫	11月1日 金	154309	兵庫県電気工事業工業組合 TEL078-671-3903	
中国	島根	11月15日 金	162302	いわみーる（島根県立西部 総合福祉センター4F）	島根県電気工事業工業組合 TEL0852-21-7433
	岡山	11月13日 水	163303	岡山商工会議所1階会議室	岡山県電気工事業工業組合 TEL086-261-0900
九州	福岡	11月6日 水	181308	毎日西部会館9階会議室	福岡県電気工事業工業組合 TEL092-523-7747
		11月21日 木	181309	福岡商工会議所4階	
	佐賀	11月7日 木	182302	佐賀市文化会館 1階イベントホール	佐賀県電気工事業工業組合 TEL0952-31-2030

第一種電気工事士 定期講習

所属工組の講習を受講しよう！

平成25年 9月～11月分

受講のお願い

各工業組合又は所属工組実施の講習を受講して頂くことをお願いいたします。全日電工連と都道府県電工組は、一般財団法人電気工事技術講習センター（以下、講習センター）の実施協力団体として、第一種電気工事士定期講習を実施しております。受付期間は、各講習日の2週間前までです。

登録のお願い

講習センターに登録をいただいた方には、従来どおり受講期限にあわせて受講期限前に受講申込書を送付いたします。

お問い合わせは、所属工組へお願いいたします。

9月

地区	都道府県	講習月日	会場番号	講習会場の名称	講習申込書提出先
東北	青森	9月4日 水	111305	リンクステーションホール青森 (青森市文化会館) 4階中会議室	青森県電気工事業工業組合 TEL017-773-1935
	宮城	9月1日 日	113303	東京エレクトロンホール宮城 (宮城県民会館) 6階大会議室	宮城県電気工事業工業組合 TEL022-221-2676
	秋田	(満席) 9月1日 水	114304	大曲エンパイヤホテル	秋田県電気工事業工業組合 TEL018-824-1587
		9月26日 木	114305	秋田市文化会館	
関東	栃木	(満席) 9月1日 火	122303	栃木県電気工業会館	栃木県電気工事業工業組合 TEL028-622-1931
		(満席) 9月1日 火	122304		
	群馬	(満席) 9月1日 水	123302	群馬県電気工事業工業組合会館	群馬県電気工事業工業組合 TEL027-251-5016
中部	千葉	(満席) 9月1日 日	125303	千葉県教育会館新館501	千葉県電気工事業工業組合 TEL043-224-6086
		(満席) 9月1日 火	125304		
	岐阜	(満席) 9月13日 月	132303	ふれあい福寿会館302大会議室	岐阜県電気工事業工業組合 TEL058-263-2207
北陸	富山	9月10日 火	141303	富山県中小企業研修センター 2階大ホール	富山県電気工事業工業組合 TEL076-441-4051
	石川	(満席) 9月12日 木	142		



電気事故の未然防止と安全意識の高揚

電気使用安全月間・8月1日から8月31日

地域社会に向けた安全・安心の提供に関する活動を取り入れ、当該プロ

ク連合会、各都道府県工組は今年度も8月1日から8月31日までの1ヶ月間、集中的に電気安全運動を実施し、電気事故の未然防止と安全意識の高揚を図る。

全・安心の提供に関する活動を取り入れ、当該プロ

ロックごとに、地域の実情に適しきつ、地域社会に向けた電気に関する知識の普及活動を取り入れた具体的な運動を行なう方針だ。

PRリーフレットなどの配布、街頭キャンペーン

①地域社会に視点をおいだ電気使用安全に関する啓発指導

による電気使用安全の啓

②漏電遮断器の取り付け推進

発、公共施設や独居高齢者宅の配線無料点検など

③不良電気設備の改修工事の実施

を行うない、地域に貢献し

④電気設備の安全診断の実施

つ電気使用安全月間運

⑤電気設備のリニューアルの推進

動を展開する予定だ。

⑥電気安全啓発キャラバ

する計画書を作成し、こ

れを経済産業省、消防庁

合) ①電気使用安全月間開

会と各都道府県電気工業組合

①主催中央団体(全日本電気工業事業工業組合連

合) ②主催地方団体(各ブロック組合連合会及び各

都道府県電気工業組

受け、関係団体の行事等との調整を図り、当該ア

ドを承認を受けるもの

とする。

ロック毎に地域の実状に

適し、かつ、地域社会に向けた電気に関する知識の普及活動を取り入れた具体的な「実施要領」を

り多くの方へ周知を行なう。

16,000枚及び主催団体統一PRリーフレット70,000枚を作成し、計画書とともに主催

う。

②安全青間にに関するチラシ」については可能な限り各団体ごとに作成

う。

③安全月間にに関する専用ホームページを構築し、これを主催中央団体

う。

④安全月間にに関する専用ホームページを構築し、これを主催中央団体

う。

⑤主催地方団体ごとに電

う。

①主催中央団体(全日本電気工業事業工業組合連

合) ②主催地方団体(各ブ

ロック組合連合会及び各

都道府県電気工業組

受け、関係団体の行事等との調整を図り、当該ア

ドを承認を受けるもの

とする。

ロック毎に地域の実状に

適し、かつ、地域社会に

向けた電気に関する知識の普及活動を取り入れた具体的な「実施要領」を

り多くの方へ周知を行なう。

う。

2014 電気工事手帳

電気工事業者
必携の手帳 技術・認証委員会監修

全日電工連は「2014年版電気工事手帳」の申し込み受付を開始しました。この手帳は、全日電工連技術・認証委員会監修のもとで制作が進められ、本年も最新のデータを取り入れて内容の充実を図っています。各工組へお申込みは



(1)EV(電気自動車)の
内容を充実
(2)公共施設用照明器具
の表示例を一部改訂
(3)電気用図記号の掲載
内容を変更

お知らせ

全国大会で事例発表も

全日電工連
優良事業工組表彰

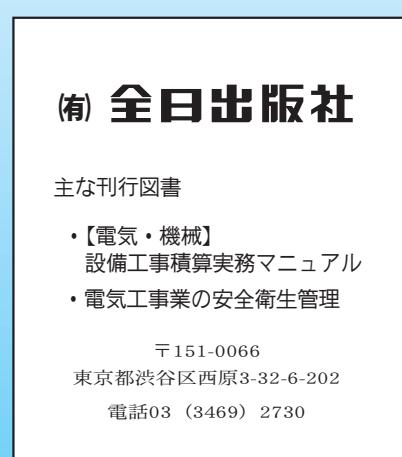
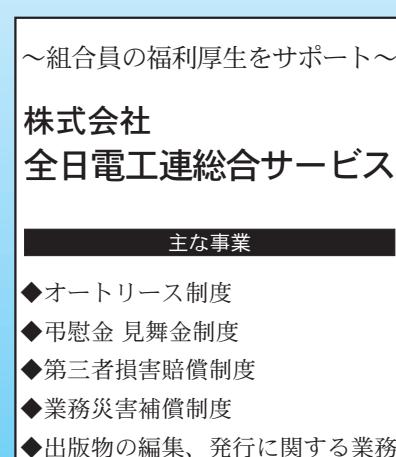
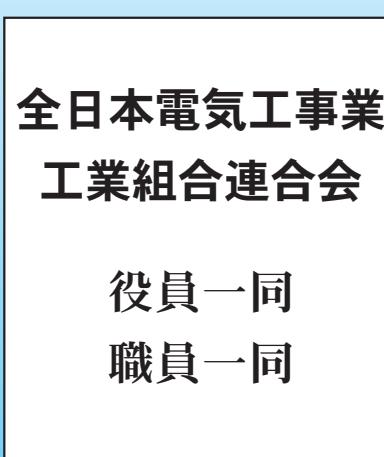
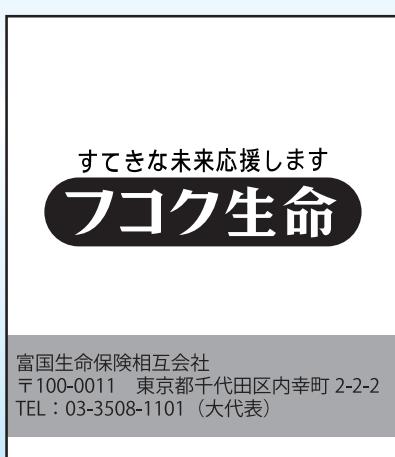
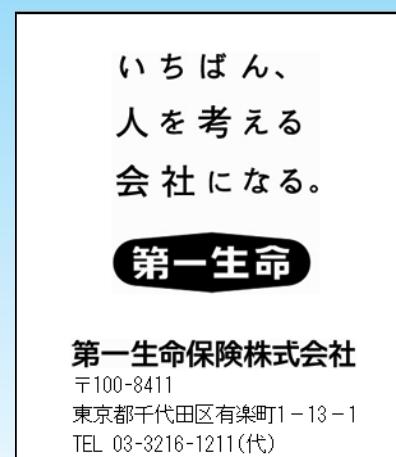
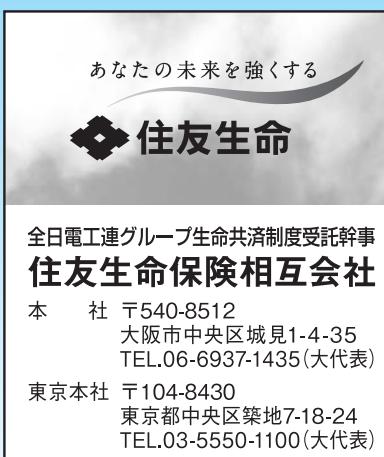
全日電工連は、特色ある事業を行なっている電工組の取り組みに對して、その努力と功績をたたえ、広く周知するため、「優良事業実施工組」への「表彰制度」を創設し、事例発表と表彰を行なうことを決定しました。第1回は、平成25年11月14日に開催される第30回電気工事業全国大会で実施される予定です。応募対象者は、各都道府県電気工事工業組合です。エントリー方法は、各電工組が指定された様式で工組の事業を各ブロック連合会に提出します。各ブロック連合会は、エントリーされた事業の審査を行ない、全日電工連へエントリーします。

優良事業実施工組表彰のスケジュール

全日電工連から「優良事業工組表彰」応募要領等の周知	7月中旬
↓	
応募する事業を各ブロックで取りまとめ	〆切 8月20日
↓	
全日電工連に推薦(三役会議において選定)	
↓	
最終選定された事業のうち、3事業が 全国大会にて事例発表とともに表彰	全国大会当日11月14日

その後、全日電工連の三役会議で審査・選定を行ない、選出された事業については、全国大会で事例発表を行なうとともに、優良事業として表彰されます。詳細は、全日電工連事務局へお願いします。

暑中お見舞い申し上げます



全日電工連協賛会社

優良製品・商品をご使用下さい！

協賛会社紹介

高岳製作所急速充電器のご紹介



全日電工連総合サービス

全日电工連の組合員の福利厚生をサポートします
オートリースのご用命は全日电工連サービスへ

株式会社 全日電工連総合サービス
〒105-0014
東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館
TEL: 03(5232)5867 FAX: 03(5442)2758

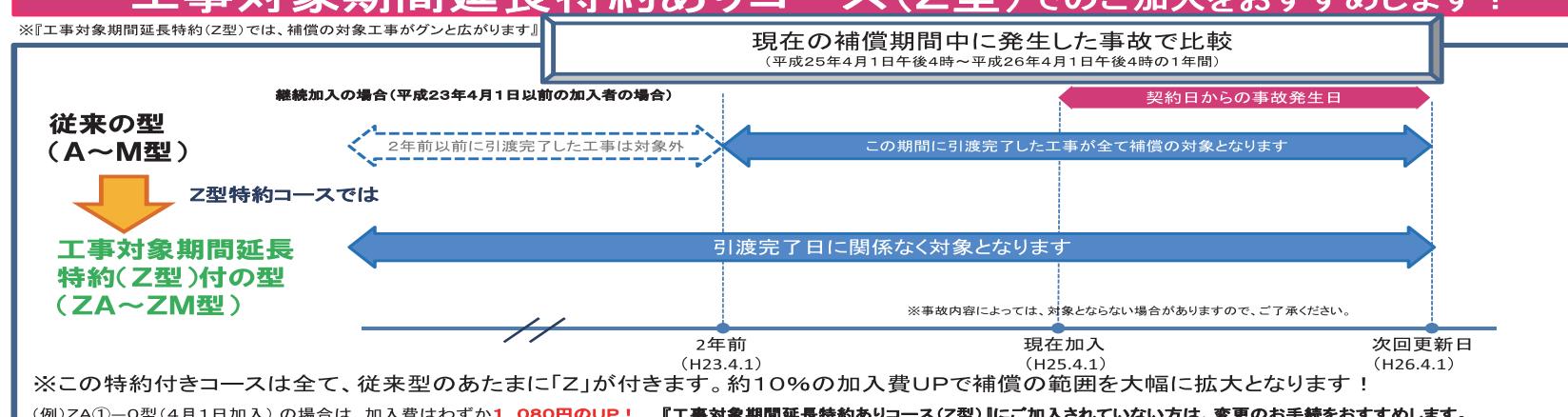
- ・損害保険の代理業務
- ・オートリース制度に関する業務
- ・出版物の編集、発行に関する業務

オートリース制度 総合補償制度

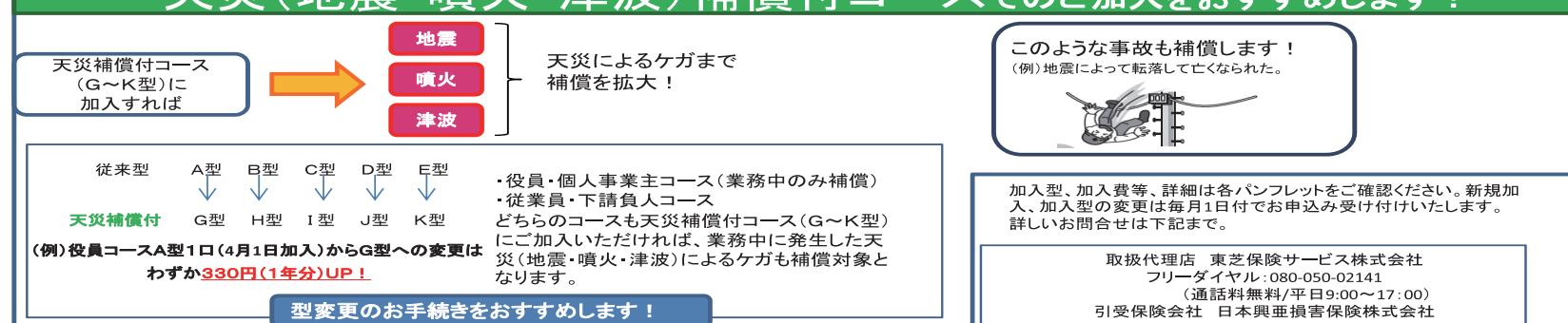
- ・弔慰金・見舞金
- ・第三者損害賠償

業務災害補償制度

ご存知ですか！？ オススメの補償内容！



全日電工連 業務災害補償制度は
天災(地震・噴火・津波)補償付コースでのご加入をおすすめします!





第28回目は、島根県電工組、監事 錦織 立志さんです。

得
意
面
満

八雲立つ出雲の国から

島根県 錦織 立志

旧暦十月、全国各地より八百万の神々が出雲大社に集つ」とから、出雲では誇らしげに「神在月」という。ここで一年の様々な仕事を控え、大きな音を立てないよう静粛に過ごしてきた。この「お忌みさん」の風習は今も残っている。

又、この神在の祭りで振る舞われた神在餅が、ズーズー弁といわれる出雲弁で訛り、「ずんざい」となり「せんざい」になった。即ち出雲は「せんざい発祥の地」であり「日本せんざい学会会員店」なるものが当然のところ出雲大社門前にある。私が全日さんと電話をしてもきつと通じない出雲弁が、日本伝統のスイーツ誕生に一役かっていたとは…。あつぱれ、出雲弁!!

一方、甘味だけでなく「酒造り発祥の地」でもある。旨い地酒がたくさんあり、ひとりで飲むもよし、仲間で飲むもよし』である。何かにつけ飲んで騒ぎたい私であるが、行事の後の慰労会、打ち上げをこちらでは「直会」と言っている。先の「神議り」が一週間続いた最終日、神々は斐伊川沿いにある万九千神社に来られ「直会」という神宴を行った後、この「神立」の地からお帰りになるという。神様と一緒にしては失礼だが、「直会」を通して出会いの縁を喜び、その縁が更に深まっていくような気がするのは私だけではないと思う。出雲は昔から天災地変が少ない地であり、それもまた神のご加護と考える出雲の人たちは、神を畏れ敬いつつ、身近に感じながら、神との関わりをうまく生活に取り入れている。

眞面目、実直、控え目、細やかな人情といわれる県民性(?)のよつたな神々との関わりにようつて培われてきたのかもしれない。

今年は六十年に一度の大遷宮の年。この時に巡り合つのも縁あつてのこと。今までの縁に深く感謝し、新しい縁を願い、二礼・四拍手・一礼。

神話にまつわる各地を巡り、癒しの湯につかり、出雲蕎麦、しじみ、地酒を堪能あれ。そして生の出雲弁も楽しんでいただきたい。神々の御座します出雲へ、ぜひおいでませ。

全九電協

「発送電分離反対」

平成25年度
評議員大会
を決議



あいさつする花元会長

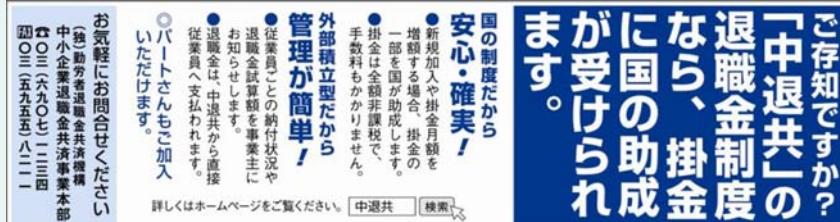
一般社団法人全九州電 気工事業協会(花元英彰 表彰や講演などが行なわ

た。議員大会を、7月18日に あいさつに立った花元 トの設備を提供する」に努めなけ

ら、出雲では誇らしげに「神在月」とか

中小企業の退職金

～国の制度がサポートします～



中小企業退職金共済制度（略称：中退共制度）は、「中小企業退職金共済法」に基づき中小企業の振興と従業員の福祉の増進を図ることを目的としています。この制度の運営は、独立行政法人勤労者退職金共済機構中小企業退職金共済事業本部（中退共）が当たっています。お気軽にお問い合わせください。

独立行政法人勤労者退職金共済機構

中小企業退職金共済事業本部

TEL 03-6907-1234

HP アドレス (<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>)

次代を担う われらが青年部

新理事が所信表明

相談役

公音（四国）



相談役

佐藤 隆行（関東）



会長 堀口 繁（関西）
「全国青年部の一体化を目指し、青年部支部活動の更なる活性化を進めます」

副会長 須田 敏行（北海道）
「堀口会長先頭に理事一丸となつて青年部一体化に向け頑張ります」

副会長 植草 宏介（関東）
「青年部会員の想いを集め、実りある事業を進めるべく尽力します」

理事 菅野 卓訓（東北）
「堀口会長の方針を体して東北各県の部長一丸となり実行していきます」

理事 斎藤 賢司（中部）
「全日本は一つ」という想いを、中部から発信して参ります」

理事 野口 努（北陸）
「堀口会長 新体制の下、新たな気持ちで頑張ります。よろしく！」

理事 林 靖貴（関西）
「ネットワークの強化をもとに、より強い組織作りに取り組みます」

理事 三原 久和（中国）
「青年部協議会の調和を図り温故知新の精神を持つて努力致します」

理事 土居 正明（四国）
「理事二期目とと言うことで、私の役目を十分に理解し頑張つてまいります」

理事 中村 吉伸（九州）
「九州は1つ！」

800名の力で未来を手に！可能性を形に！」

全国青年部協議会 平成25年度事業計画

青年部協議会の方向性を考えるとき、時代の変化に的確に対応した事業展開が強く求められており、全国青年部員の力をここに集め、時代を乗り越えて行くことが必要です。また、全日電工連の方針にもあります「風を起こす組織、スピード感のある強い組織」作りを推進していくうえでも、青年部協議会としては強い絆で1つに成らなければならない時であります。そこで今後2年間の青年部協議会の活動指針として、全国5千人の想いが青い年部協議会に届き、検討した事業内容が各青年部支部に伝わる環境を構築していくります。その為にも今青年部員が持つている「伝える義務と聞く義務、そして伝える権利と聞く権利」を明確にしていきます。そうした環境構築のもと、各工組、各青年部の連携のもと、連帯意識の高い強い組織作りに取り組むべく行動していきます。

第一として「青年部支部活動の更なる活性化」があります。

全日電工連・青年部協議会の各種事業を推進しているのは、各工組・青年部の支部であり、また各組合の将来を担っているのも各支部にあります。各支部活動の強化こそ各工組・全日電工連の強い組織作りに繋がります。そこで各青年部支部の意見を各工組青年部が聞き、ブロック連合会青年部に伝え、または青年部協議会の決定事項などの内容は各工組青年部を通じ青年部支部が実行するという双方面ネットワークの向上に努めています。

第二として、「青年部協議会「提言書」各提言項目の実行」にあります。

全日電工連各種委員会に対して各提言項目が審議事項となりました。青年部協議会としては、1つでも多くの項目が実行されるよう親会との意見交換など

を通じて要望していきます。また各提言項目の素案作成の付託を受け、各委員会に提案していくことで実行へのスピードアップを図つています。業界の

ありたい姿を創造し実行していくのは我々青年部の役目であり、その想いを集め約したものが提言書であるとも言えます。提言項目の実行を通して青年部員の

協議会を通じて要望していきます。また各提言項目が審議事項となりました。青年部協議会としては、1つでも多くの項目が実行されるよう親会との意見交換など

を通じて要望していきます。また各提言項目の素案作成の付託を受け、各委員会に提案していくことで実行へのスピードアップを図つています。業界の

ありたい姿を創造し実行していくのは我々青年部の役目であり、その想いを集め約したものが提言書であるとも言えます。提言項目の実行を通して青年部員の

絆を深め、厳しい時代を共に乗り越えていきたいと考えます。

最後に、「工・販・製三位一体による事業活動の強化」があります。

厳しい経済状況のなかですが、お客様の要望をしっかりと捉えることにより、電気工業界の需要は多くあると思います。電気工業界での強化、経営の安定化のために、各工組・全日電工連との連携のもと、関連団体・企業との更なる連携強化が必要であります。青年部協議会のスケールメリットを活かし、意見交換会の開催、工事・販売・製造との連携による品質と技術力の向上と新分野の研究を促進していきたいと考えます。

我々青年部は、電気工業界のために何をすべきか、後継者として何を考えるべきか、諸先輩方の方々の経験と知恵に学び、親会との連携を図りながら、様々な直面する問題の改善に努めるとともに、組合事業に貢献していきます。

※主要事業項目

- (1) 青年部協議会組織内ネットワークの強化に向けた各種取組み
- (2) 青年部協議会「提言書」各提言項目に対する行動
- (3) 工・販・製における更なる連携と事業活動の強化
- (4) 全日電工連事業の推進、組合事業に対する積極的な参加と組合への提案

TOSHIBA
Leading Innovation

電球のように広がるあかりで空間は明るく小電力で効率よく節電をするなら LED電球 一般電球形 7.7W

point1 白熱電球・電球形蛍光ランプに近い光の広がり

マルチ拡散グローの採用により、従来のLED電球では困難だったランプ背面方向への光の広がりを実現。ペンダントや浴室灯など、ランプ全体の明るさが必要な照明器具におすすめです。密閉形器具対応。

point2 LED電球に特有のまぶしさ感を低減

グローの拡散性を向上させることにより、LED電球特有のまぶしさ感(グレア感)を低減しました。

point3 一般電球形状E26口金根元部分にくびれ

サイズ・カタチともに一般白熱電球にさらに近づきました。電球近似形状により、器具適合率を高めています。

LED電球 一般電球形 7.7W
LDABL-G LDABN-G
全長 112mm
外径 60mm
一般白熱電球
LW100V36W
全長 98mm
外径 55mm



LED電球 一般電球形 7.7W ラインアップ

光源色	形名	寸法(mm) 外径・全長	質量 (g)	口金	定格電圧 (V)	定格消費電力 (W)	ビームの開き (度)	定格寿命 (h)
電球色	LDA8L-G	60 112 110	E26	100	7.7	約260	40.000	
暖白色	LDA8N-G	60 112 110	E26	100	7.7	約260	40.000	

わずか7.7Wの消費電力で一般電球40W形*相当の明るさを実現

ecoスタイル

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。



東芝ライテック株式会社

<http://www.tlt.co.jp/>

光源事業部 商品担当 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL.(046)862-2084

東芝グループはチャレンジ25
キャンペーンに参加しています。

チャレンジ
25